

まよちづくり

明和町では、町を支える住民の生命・財産を守ることを第一に、様々な防災・防犯・交通安全等の取り組みを進めています。

東日本大震災発生直後の平成24年度から、「地域防災懇談会」を設置し、協働して地域の防災力を高める取り組みを行っています。

また、並行してハード整備について平成27年度から津波避難タワーの整備に着手をいたしました。

南海トラフ地震による大規模災害の発生確率が高まっており、実践的な訓練を通じた町の防災体制の強化、防災・減災に係る「自助」「共助」の強化啓発、自主防災組織や関係機関との連携強化を図り、総合的な防災・減災力の向上に力を入れています。

また、防犯・交通安全の取り組みとして、NPO法人と連携し、青色防犯パトロールによる下校時



交通安全運動
三重県警と協力し、街頭でドライバーに交通安全を訴える「ミルミルウェーブ」を実施。



消防団 消防団による出初式での放水の様子。夏季、秋季にも訓練を行っており、いつ来るかわからない自然災害に日頃から備えている。

の子どもたちの見守りの実施や、小学校・幼稚園・保育所等の教育施設における交通安全教室を実施するなど、子どもや保護者向けの交通安全教育を通じて事件・事故のない安全なまちづくりを目指しています。



地域防災懇談会
各地区の自治会長、民生委員、消防団、学校関係者といった地域の代表者と共に地元の防災対策について話しあう。

防災安全



総合防災訓練
明和町では毎年、総合防災訓練を実施している。津波避難訓練や資機材訓練、地震体験、濃煙体験等の各種訓練や防災展示を実施し、関係機関との連携強化や住民の意識啓発を行い、明和町の防災・減災力の向上に努めている。



行政

これからの地方分権の時代には、自治体や地域が特色や個性を活かしたまちづくりを進めていくことが求められており、住民自治や地域内分権などのほか、地方に人が住み活性化するため「地方創生」に関する施策が重要視される時代になっています。

明和町では、明和町総合計画に基づき「明和町人口ビジョン」、「明和町総合戦略」を策定しており、まち・ひと・しごと創生に積極的に取り組むとともに、暮らしの利便性向上を目指した施策を実施しています。

また、様々な行政施策に関して、単一自治体のみではなく、広域的に取り組むことで、行政の効率化と施策の効果を高められることから、近隣市町との連携はもちろん、遠隔地の自治体とも連携・交流を深める取り組みを進めています。総合的な行政施策を実施し、「歴史・文化と自然が輝き、快適でこころ豊かな「和」のまち明和」を創造します。



総合計画
10年ごとに町の将来像を展望し、その実現に向けた基本的な考え方を示すもので、住民等と行政が協働してまちづくりを進めるための町政運営指針。



友好交流都市 <群馬県明和町>
平成11年6月に友好交流提携を締結して以来、スポーツ交流や産業交流など、様々な交流事業を行っている。



明和町民バス
平成15年11月から試行運行が始まり、平成28年10月に路線・ダイヤの改正が行われ4ルートに細分化、3台に増やしての運行を行っている。

